

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年12月22日

計画の名称	八街市における流域関連公共下水道の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	八街市												
計画の目標	下水道の整備によって、管渠の破損による事故防止と都市型の浸水の解消・軽減を図り、市民が安心して、安全で快適に暮らすことができる良好な住環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	377	A	377	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	八街市マンホール蓋長寿命化計画における達成率を7.5%から75%にする。 下水道施設（マンホール蓋）における長寿命化対策を実施する。 マンホール蓋交換済みの箇所（箇所）/マンホール蓋交換予定箇所（箇所）	8%	45%	75%
2	下水道による都市浸水達成率を7.6%から16.5%に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済面積（ha）/浸水対策を実施すべき面積（ha）	8%	9%	17%
3	重要な幹線管渠で耐震化の必要箇所を耐震補強する。 耐震化達成率 重要な幹線管渠耐震化実施済箇所数（箇所）/重要な幹線管渠主要幹線耐震化目標箇所数（箇所）	0%	100%	100%
4	ストックマネジメント計画を策定し、ライフサイクルコストの最小化を図る。 ストックマネジメント計画策定率	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨がる成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。														

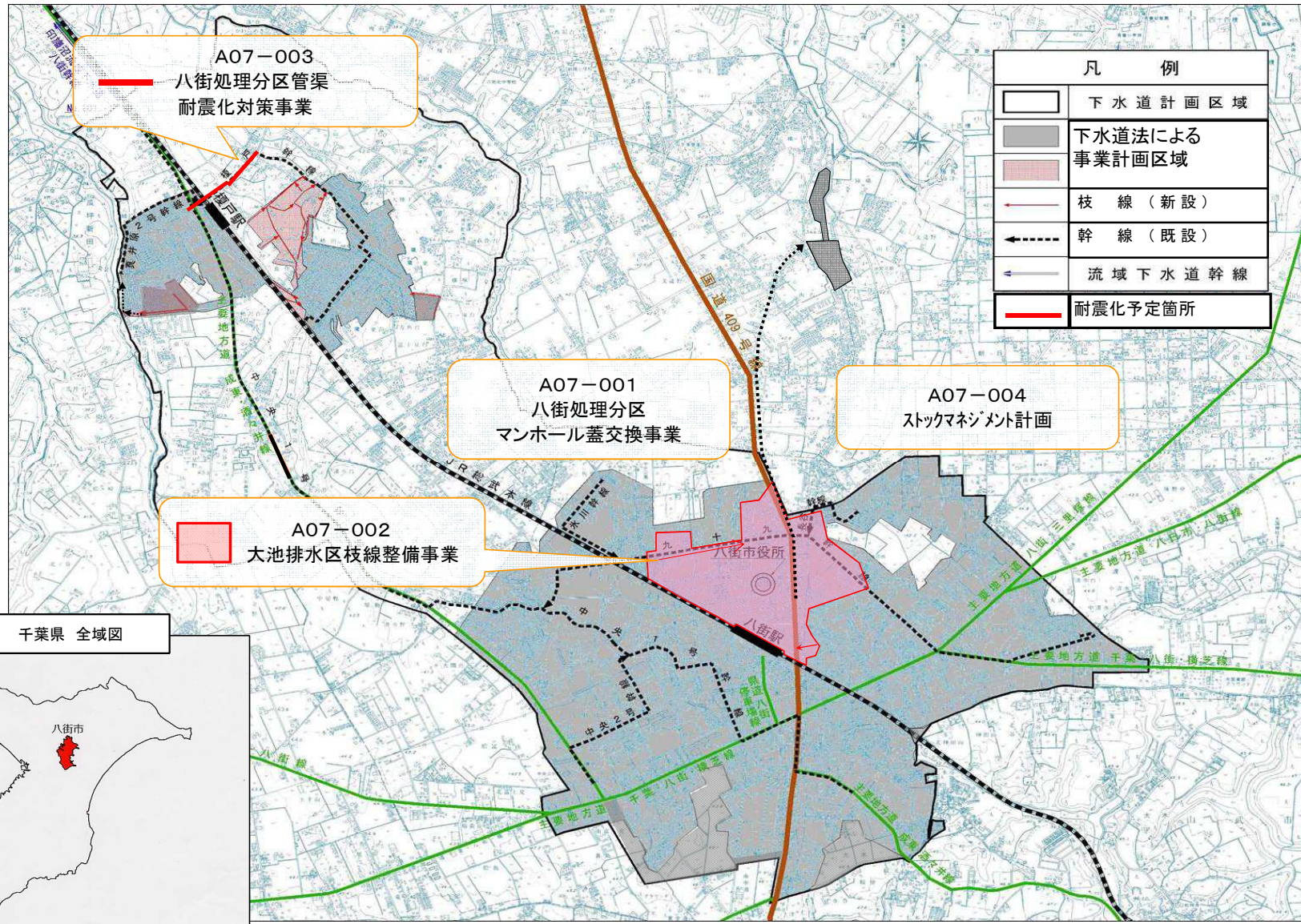
A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	八街市	直接	八街市	管渠(汚水)	改築	八街処理分区マンホール蓋交換事業	マンホール蓋交換 300個	八街市						150		策定済
		八街市マンホール蓋長寿命化計画																	
	A07-002	下水道	一般	八街市	直接	八街市	管渠(雨水)	新設	大池排水区枝線整備事業	雨水枝線 600 ~ 1100 L=400m	八街市						7		-
	A07-003	下水道	一般	八街市	直接	八街市	管渠(汚水)	改築	八街処理分区管渠耐震化対策事業	幹線管渠の耐震補強 L=400m	八街市						170		策定済
		八街市公共下水道総合地震対策計画																	
	A07-004	下水道	一般	八街市	直接	八街市	-	改築	ストックマネジメント計画調査	調査・計画策定	八街市						50		-
		ストックマネジメント計画																	
																	377		
												合計					377		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画作成主体の八街市（建設部）が八街市下水道事業 社会資本整備総合交付金評価実施要綱に基づき実施	令和4年11月22日
	公表の方法
	八街市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐用年数を経過し老朽化したマンホール蓋の計画的な更新改築を進めることで、安全性を向上することができた。</li> <li>・概ね5年に一度程度発生すると予想される規模の降雨に対応した下水道を整備することによって駅周辺の利便性と安全性を向上できた。</li> <li>・幹線管渠を耐震化補強することで、レベル2地震動に耐えうる管渠となり、安全性を向上することができた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大池調整池築造工事を進めることによって、大池排水区上流までの浸水解消、軽減をすることができるようになった。</li> <li>・マンホール蓋の改築を進めることで、不明水対策にも寄与できた。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後はストックマネジメント計画に基づき、管路及びマンホール蓋、マンホールポンプの改築更新を進め、安全性の向上に努める。</li> </ul>	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	75%	開発事業と一緒にいったため、一箇所当たりの事業費が安価になった。
	最終実績値	76%	
2	最終目標値	17%	元々一つの計画だった防災・安全の重点計画の大池調整池築造工事へ配分したため、事業進歩が見込まれる箇所へ優先して事業費を配分した結果、目標値に到達しなかった。
	最終実績値	8%	
3	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	
4	最終目標値	100%	
	最終実績値	100%	

計画の名称	八街市における流域関連公共下水道の推進(防災・安全)		
計画の期間	平成28年度～令和2年度(5年間)	交付対象	八街市



凡 例	
	下水道計画区域
	下水道法による事業計画区域
	枝線(新設)
	幹線(既設)
	流域下水道幹線
	耐震化予定箇所

千葉県 全域図

